

**授業概要**

図書館における情報サービスの意義を明らかにし、レファレンスサービス、情報検索サービスをはじめとする情報サービスの手法とその考え方の理解を目指して講義します。  
おおむねテキストに沿って進行します。

**授業計画**

第1回	イントロダクション
第2回	情報化社会と図書館 — 社会と図書館の変化 —
第3回	図書館の情報サービス — 種類と特徴 —
第4回	レファレンスサービス — 利用者の情報探索とレファレンス —
第5回	レファレンスサービス — レファレンスプロセス、レファレンスインタビュー —
第6回	レファレンスサービス — レファレンス情報資源、レファレンスの評価 —
第7回	レファレンスサービス — 人と組織の準備 —
第8回	情報検索 — データベースの構造、データベースの種類 —
第9回	情報検索 — 情報検索プロセス、検索戦略、検索技法、 —
第10回	情報検索 — 実際の情報検索、検索担当者 —
第11回	地域情報と図書館 — ウェブサイト、SNS、地域資料、デジタルアーカイブなど —
第12回	利用者情報サービス — 利用案内、情報リテラシー —
第13回	各種情報資源の特徴と利用法 — 供給メディアによる種類と性質 —
第14回	各種情報資源の特徴と利用法 — 取り扱う内容による種類と性質 —
第15回	まとめ — これからの情報サービス —
第16回	筆記試験

**到達目標**

図書館員の職務につくことを前提に、次のことへの理解を目指します。

1) 図書館における情報サービスの意義、2) レファレンスサービスをはじめとする各種情報サービスの種類と内容、3) データベースの基礎と情報検索の技法、4) 情報サービスに用いる情報源の種類とその利用法。それらを通じて演習科目である「情報サービス演習」を学ぶ準備をおこないます。

**履修上の注意**

講義中の発言を歓迎します。質問や話題提供など、積極的な参加を期待します。

「図書館概論」および「図書館サービス概論」の履修を済ませていることが望まれます。

「情報サービス演習」の理論的側面を受け持つ科目です。同科目を履修する前に本科目の履修が望まれます。

必要に応じて、PC教室や図書館などの学内施設を利用します。

**予習・復習**

下記を含む関連テキストを含め、メディアセンターに関連テキストが多く用意されています。関係箇所を事前に読んでおいてください。(関連項目は講義時に示します)

毎回の講義でだされるアサインメントは、次回までに取り組んでおいてください。

講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

**評価方法**

期末テスト(60%・必須)と課題レポート(20%・必須)を主とします。それに授業への貢献(議論へ積極的参加など)および自由提出のレポート(20%)を加えて評価します。

**テキスト**

(参考) 山崎久道編. 情報サービス論. 樹村房, 2012, 209p., (現代図書館情報学シリーズ, 5), ISBN 978-4-88367-205-9. ※新版の出ることが予想されますので、その場合はそちらも紹介します。

(参考) 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 丸善出版, 2013, 284p., ISBN 978-4-621-08774-9.

その他授業中に印刷資料を配布します。